

2000人以上もの研究者を抱える日本最大級の公的研究機関「産業技術総合研究所（産総研）」から、まず思い浮かべるのは何だろうか。「難しそうな研究をしている」、だったり、「敷居が高くて近寄りづらい」、だったり、人それぞれ、ただ、産総研が目指すのは、もっとと私たちに身近なものだ。研究成果をいかに社会に還元できるかを考え、日々努力している。その力きとなるのは連携、産総研理事イノベーション推進本部長の瀬戸政宏氏に、「つくばから世界へ」を視野に入れた連携のあり方について聞いた。

